



# UNITED NATIONS UNIVERSITY

国際連合大学  
年次報告書  
2003

# 国際連合大学

## 背景

国連大学は、国連憲章の目的と原則を追求・促進するために研究と大学院レベルの研修を行い、その成果を普及する、学者・研究者の国際的共同体です。こうした構想を打ち出したのはウ・タント元国連事務総長でした。彼は1969年に「真に国際的な性格を有し、国連憲章が定める平和と進歩の諸目的に合致する国際連合の大学」の必要性を訴えたのです。その後いくつかの経緯を経て、国連本部とユネスコ(国連教育科学文化機関)の共同支援を受ける国連総会傘下の独立機関として国連大学が誕生、1975年9月に東京を本部に活動を開始しました。

## 目的と使命

国連大学憲章にもうたわれている通り、国連大学の目的は世界の学者・研究者の知的交流を促進することで「人類の存続、発展および福祉にかかわる緊急かつ世界的な問題」とその解決方法とを研究することです。また、知的孤立状態に陥りがちな途上国の学者や研究者を国連大学の世界的ネットワークに率先して参加させることも重要な責務といえます。

国連大学の基本的役割は次の5つです。

- 学者・研究者の国際的共同体
- 国連と世界の学界の「懸け橋」
- 国連システム全体のシンクタンク
- 途上国をはじめとする能力育成のサポート
- 新しい創造的な理念の討論の場

## 組織

国連大学は、東京にある大学本部と、各国にある研究・研修センター(プログラム)、提携・協力関係にある世界の学術機関や学者個人のネットワークで構成されています。

運営の原則や方針は、国連事務総長とユネスコ事務局長が任命する理事24名(任期6年)で構成される国連大学理事会により決定されます。各理事は出身国代表としてではなく個人の資格で理事会に出席します。理事会には、国連事務総長、ユネスコ事務局長、国連訓練調査研修所(UNITAR)所長の3名が職権上の理事として含まれているほか、学長も理事会のメンバーです。

学長は、国連大学の学術・管理両面の最高責任者であり、その事業活動全般の指揮、企画、運営に関して責任を負っています。

## 21世紀における研究・研修活動のあり方

人間の活動がかつてない規模で世界を変えつつある現在、国連大学は、人間活動がもたらす影響、とりわけ途上国に対する影響に注目した研究活動を、大学本部、各地の研究・研修センター(プログラム)、そして世界の学術機関や学者からなるグローバルなネットワークを通じて進めています。こうした研究は主に、「平和とガバナンス」と「環境と持続可能な開発」に焦点をあてています。

### 国連大学本部 [東京、1975年開設]

国連大学本部の役割は、大学の活動を企画、立案、管理する上で学長を補佐することにあります。本部の活動は現在、主に三分野に分類され、「環境と持続可能な開発」プログラムは、人間の活動と自然環境との相互作用、および持続可能な人間の発展にとってのその影響を考察します。「平和とガバナンス」プログラムは、研究、洞察と政策研究、能力育成を通じて、平和とグッドガバナンスの促進に寄与することを目指します。「能力育成」プログラムは、途上国の若手研究者を対象とした短・長期の各種フェロウシップ・プログラムを行います。

### 国連大学世界開発経済研究所 (UNU-WIDER)

[フィンランド・ヘルシンキ、1985年開設]

研究・研修センターの第1号。最新の課題をとりあげて独自の分析と政策提言を行うことで、最貧国の国々における経済・社会面での持続可能な発展を目指します。

### 国連大学新技術研究所 (UNU-INTECH)

[オランダ・マーストリヒト、1990年開設]

新しい技術が登場、普及し、影響をあたえるプロセスについて、途上国を中心に斬新な考察を行います。特に、新技術がその開発の段階でどのような役割をはたすのかに重点をおき、調査研究や政策分析、能力育成を行います。その教育プログラム、ワークショップ、共同研究プロジェクトは、新技術が途上国の社会にもたらすさまざまな影響を評価、予測するのに役立てられています。

### 国連大学アフリカ天然資源研究所 (UNU-INRA)

[ガーナ・アクラ、1990年開設。ザンビア・ルサカに鉱物資源部]

アフリカの天然資源を保護しつつ、生産的に利用するための技術を開発、普及させることを目的に、アフリカの大学や研究機関と協力しながらノウハウの確立と人材の育成を行います。

### 国連大学国際ソフトウェア技術研究所 (UNU-IIST)

[中国・マカオ、1992年開設]

途上国に対しソフトウェアを開発したり、急速な発展をとげる情報通信技術(ICT)を有効活用できる能力の育成をサポートします。

(後ろ表紙へ続く)

(前表紙からの続き)

### 国連大学高等研究所 (UNU-IAS)

[横浜 (2004年に移転)、1996年開設]

持続可能な開発に重点をおきつつ、社会のシステムと自然のシステムとの接点に関わるさまざまな問題についての専門知識を地方、地域、世界の各レベルで結集させ、水準の高い研究と能力育成の観点から、世界が直面する課題を創造的に解決することをめざします。

### 国連大学環境・人間安全保障研究所 (UNU-EHS)

[ドイツ・ボン、2003年開設]

自然災害やその他の災害が発生した場合の被害や、影響を受けた地域社会の対応能力を評価します。特に、徐々に進む環境悪化と、より短期的に発生しうる緊急事態をもたらす全体的影響を重視しつつ、氾濫原やデルタ地帯、都市部などにおける災害、危険度、脆弱性、対処能力といったテーマに取り組んでいます。

### 人間と社会の開発のための国連大学食糧栄養プログラム (UNU-FNP) [米国ニューヨーク州イサカ、1975年開設]

人類の発展を食糧と栄養の問題に結びつけ、研究と能力育成を行います。比較的短期間で実行できる分析方法により、栄養や健康に関するプログラムの考案、アセス、改善を行い、社会に役立てます。

### 国連大学地熱エネルギー利用技術研修プログラム (UNU-GTP) [アイスランド・レイキャビク、1979年開設]

#### 国連大学水産技術研修プログラム (UNU-FTP)

[同、1998年開設]

UNU-GTPは、地熱エネルギーを研究、利用、開発するための大学院レベルの研修を行っています。研修期間は6ヶ月で、コースは9種類。アイスランド大学の協力提携により、修了すると同大学における必要単位の4分の1を満たすことができるコースも用意されています。

これに対しUNU-FTPでは、水産業の研究開発に関する大学院レベルの研修(6ヶ月)を行っており、品質管理、政策とその立案、資源のアセス、漁業技術、企業経営、環境調査の6コースがあります。

### 国連大学中南米バイオ技術プログラム (UNU-BIOLAC)

[ベネズエラ・カラカス、1988年開設]

中南米諸国における発展とその統合のためにバイオテクノロジーの開発・利用を促進する能力育成プログラム。研究や研修、新しい知識の普及などを通じて、中南米が抱える重要な問題の解決を目指します。

### 国連大学プログラム 国際リーダーシップアカデミー (UNU-ILA)

[ヨルダン・アンマン、1995年開設]

安全で公正平等な人材と民主的社会の確立を目指して、リー

ダーシップ能力の構築、リーダーシップに関する独自の調査、および人々の意識向上という三方面から、リーダーシップの育成を促進、奨励しています。

### 国連大学 水・環境・保健に関する国際ネットワーク (UNU-INWEH) [カナダ・オンタリオ州ハミルトン、1996年開設]

多くの人々の生活に影響を及ぼし、世界が持続可能な発展をとげる上で重大な障害となりうる世界的な水の危機に焦点をおいたプログラム。需要をベースとした能力育成を体系的に行うとともに、途上国における水の管理の向上を目的とした政策指向型の研究を支援しています。

### 国連大学地域統合比較研究プログラム (UNU-CRIS)

[ベルギー・ブリュージュ、2001年開設]

地域内統合や地域間統合のプロセスとその影響について、比較・学際的研究と研修を通じて理解を深めることを目的としています。目標は、新しいガバナンスと協力の形態について政策指向の知識を蓄積し、途上国を中心とする地域統合・協力の問題について能力の育成をめざします。

## 大学院レベルの研修

1976年から2003年までに約2,200人のフェローが国連大学本部や諸機関で修士・博士レベルの研修を受けました。国連大学の研修プログラムは、途上国が自立した形で発展できるよう、その研究機関の機能を強化するとともに、学者・研究者に国連大学の研究ネットワークに加わる機会を提供することにも力を入れています。フェローに選ばれるには、研究領域が国連大学のそれと一致すること、出身機関の推薦があること、研修終了後は必ず出身機関で勤務することが条件です。

## 成果の発表・普及

国連大学出版部では、学術書籍を出版するとともに、5種類の学術誌の発行に協力しています。また、国連大学広報部でも、ニューズレター『UNU Nexions』や『Work in Progress』、ウェブマガジン『UNU Update』、その他さまざまな広報資料を通じて国連大学の学術ネットワークが取り組んでいる研究や事業を随時お知らせしています。

## 財務

国連大学は国連の通常予算からは一切資金を得ていません。大学の活動は、各国政府や公的機関、国際機関、企業、財団などからの任意の寄付によって支えられています。年間事業費は、一般および特定事業に対するこうした拠出金のほか、国連大学基金の運用益が主な基本財源です。2003年の年間予算は約3,680万米ドルです。